

たけの海まち “探究” 学習プログラム

たけたん



竹野町で創業 50 年 教育旅行受入れ実績地域 No.1



奥城崎シーサイドホテル
OKUKINOSAKI SEASIDE HOTEL

INDEX

目次

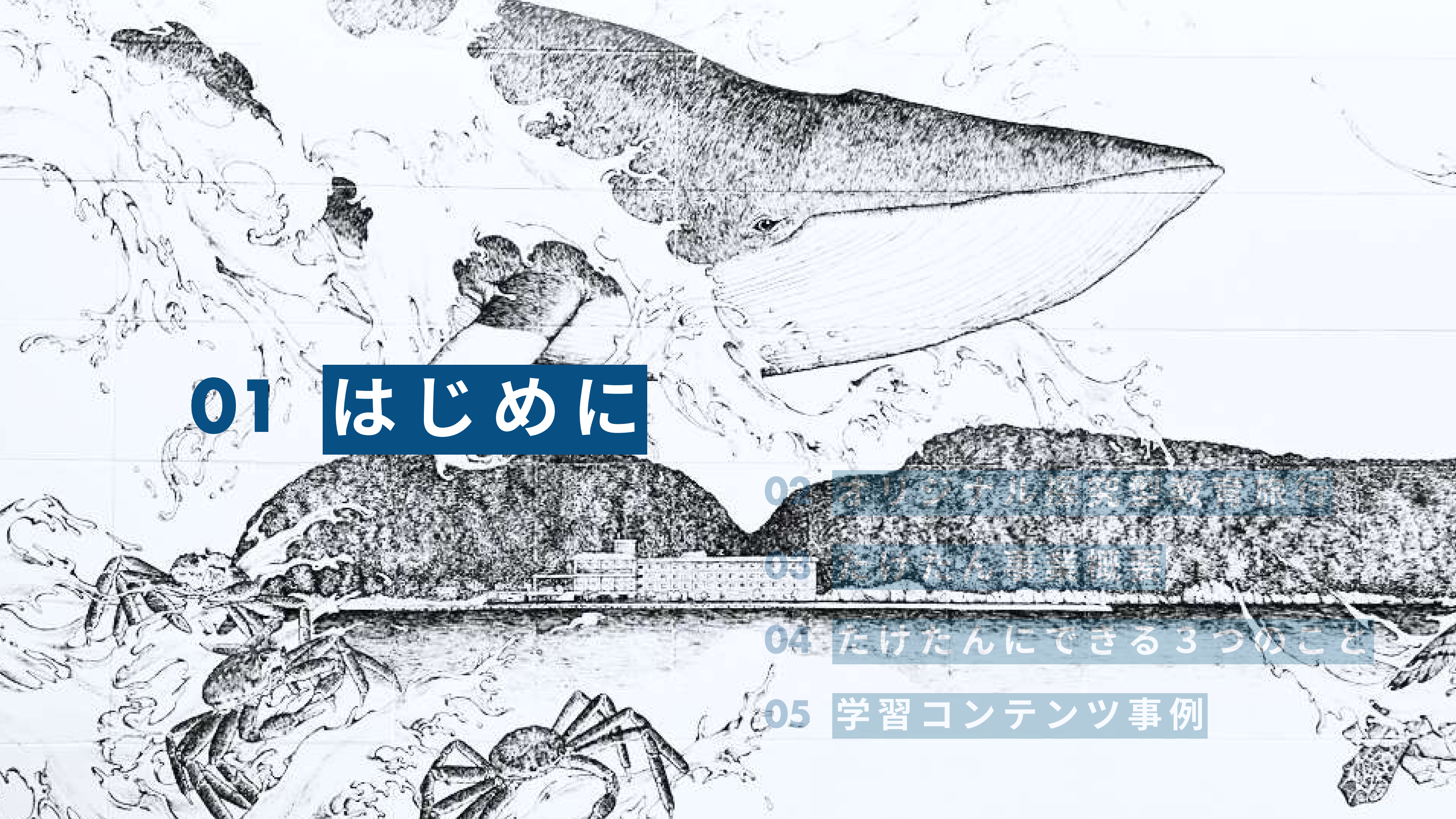
01 はじめに

02 オリジナル探究型教育旅行

03 たけたん事業概要

04 たけたんにできる3つのこと

05 学習コンテンツ事例



01 はじめに

02 オリジナル探究型教育旅行

03 たけたん事業概要

04 たけたんに行ける3つのこと

05 学習コンテンツ事例

教育現場に求められる 探究プロセス

国の方針

改訂が進む指導要領。

変化多き時代に対応する人材を育成するために、技術や知識などの再現性だけでなく
思考力、判断力、アウトプット力を育成する教育へ。

大学の変化

関西学院大学 「探究評価型入学試験」

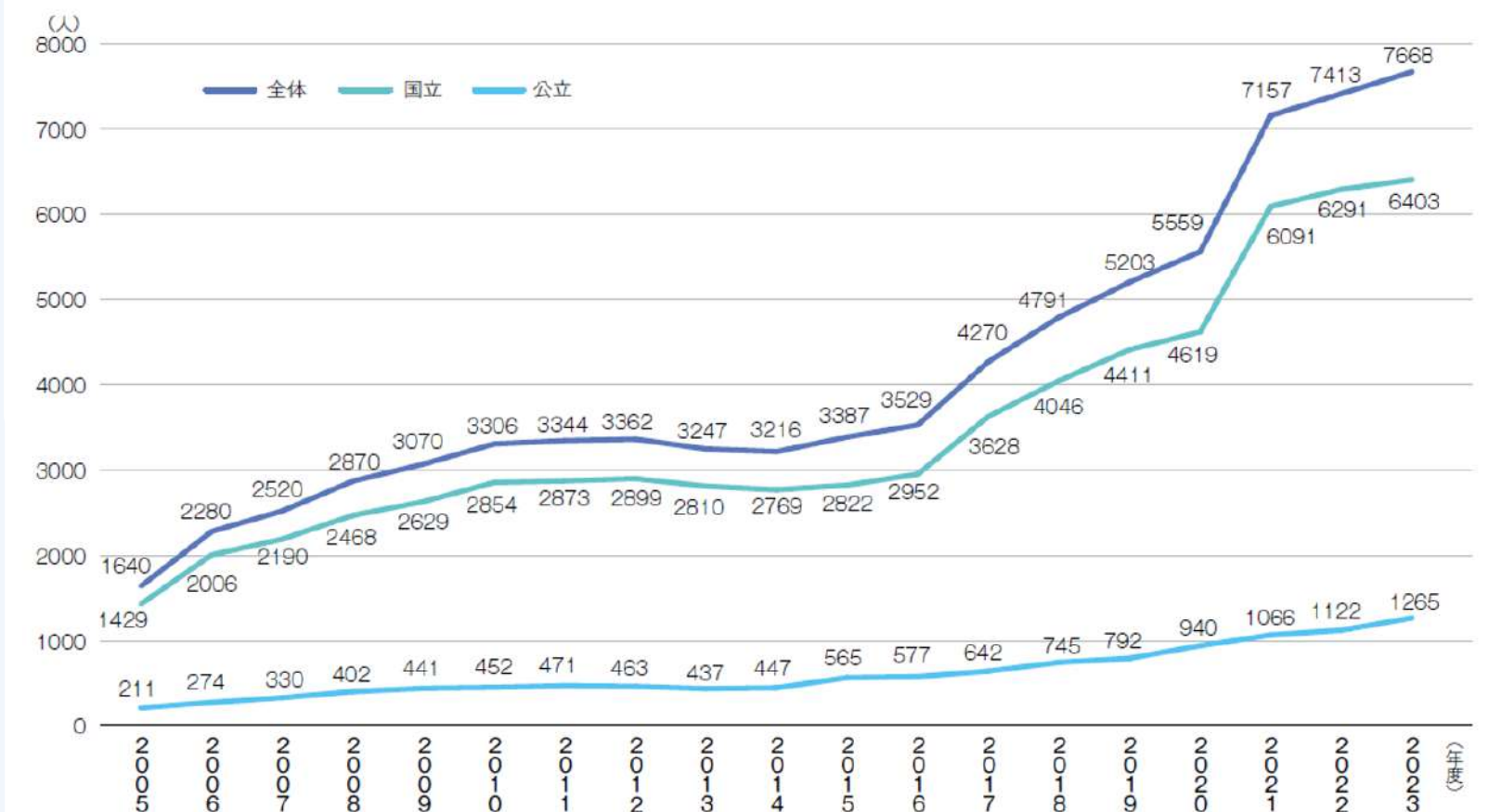
神戸大学 「志特別選抜」

など**探究学習**を通じて身につけた課題設定からアウトプットまでの**プロセスを評価する入試枠希望**の増加。

教育現場

正解主義型の教育から
構想力型の教育へと、
新しいカリキュラムを検討する事が
求められている

国公立大学における総合型選抜の募集人員推移



文部科学省『令和5年度国公立大学入学者選抜の概要』P.8より抜粋

教育旅行の課題

高等学校における教育旅行に関して、
教員が最も不満を感じている点は

“**過重な労働負担**”

特に

修学旅行の準備に伴う長時間労働や、
業務外の時間における対応が問題視されています。

高等学校教員の平均残業時間



95
時間/月

日本教職員組合「2022年 学校の働き方改革に関する意識調査」より



01 はじめに

02 オリジナル探究型教育旅行

03 たけたん事業概要
環境科で学ぶ環境学習

04 たけたんに行える3つのこと

05 学習コンテンツ事例

地域と共に学ぶ探究型教育旅行

オリジナル探究学習プログラム

たけたん

探究学習

自分自身で学習のテーマを設定する。体験で得た知識を基に考察を深める事で、生徒の主体性が引き出される。将来のPDCA思考へと繋げていく。



SDGs

地元豊岡の企業等が実際に行っている社会課題や環境問題を解決するSDGsの取り組みを学ぶ。



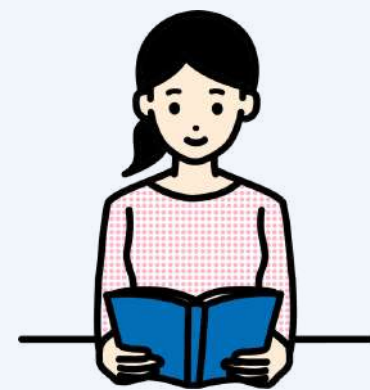
キャリア教育

探究学習やグループでの協働活動などの実践型のキャリア教育や、企業等での体験学習を通じて、自分なりの職業観を形成していく。



体験と体感、地域交流が 思考と感性を **刺激** する

実学的キャリア教育を提供



01 事前学習

..... 課題研究
..... 事前調査

生徒一人一人が何を学びたいかを考え、テーマを設定。事前調査を通じて、自ら「問い」を立てる。



02 現地学習

..... 現地SDGs取組み見学
..... 講話・ワークショップ

旅行中は、自らが立てた問いに対し、体験や見学、交流を通じて気づきや答えに対するヒントを得る。



03 事後学習

..... 振り返り
..... ビジネスアイデア

旅行を振り返り、どのような気づきや学びがあったか整理し自らが立てた問いに対して答えを導いていく。



04 実生活へ

..... PDCA思考
..... 課題解決型思考

日常において本学習のサイクルを繰り返す事で、社会に出た際の考える力を身につける。



01 はじめに

02 オリジナル探究型教育旅行

03 たけたん事業概要

04 たけたん事業概要
事業目的・理念・事業内容

04 たけたんにてできる3つのこと

05 学習コンテンツ事例

フィールドは竹野町全体！地元ホテルを拠点とした..

探究 フィールドテーマパークへようこそ！

竹野町

が一つとなって町全体で探究学習のフィールドになる

新しい地域活性化のカタチを“探究”し続けます

photo by bozzo



01 はじめに

02 オリジナル探究型教育旅行

03 たけたん事業概要

04 たけたんにできる3つのこと

05 総合コンテンツ別

関西初 ホテルと地域が一体となってプロデュースする 教育旅行

たけたん で解決出来る 3つのこと

“丸投げでOK,,

カリキュラムのご提案からお部屋割りまで全て丸投げでOK。200名様まで受入れ実績がある当ホテルが全て手配をいたします。教員の皆様は煩雑なお手配をする事なく、本来の教育に専念する事が出来ます。

“豊富な学習内容,,

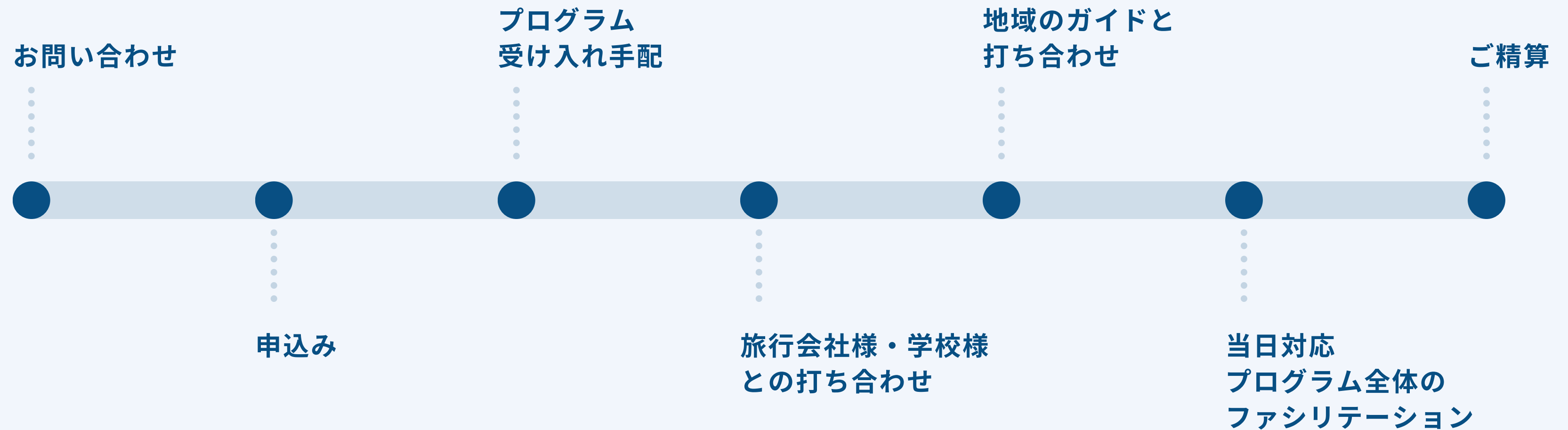
大自然に囲まれた地方都市だからこそその様々な課題が探究心をくすぐります。地域企業との連携による社会学や、豊富なジオスポットでの地質学など様々なテーマの中から課題設定をすることが出来ます。

“コンシェルジュ,,

大手旅行代理店で受入実績もある経験豊富なコンシェルジュがタビマエから寄り添ってサポートいたします。コンテンツの設計やファシリテートなど、御校の課題に合わせたご提案をサポートさせていただきます。

ワンストップ問い合わせ窓口で対応

当ホテルで、**ワンストップ問い合わせ窓口**を設置して、専門コーディネーターが、各旅行会社様、各学校様とのご調整を行わせていただきます。



地域のガイドの方々との調整から、当日の運営。ファシリテーションまで、おまかせください。

関西初 ホテルと地域が一体となってプロデュースする 教育旅行

教育旅行受け入れ地域 No.1 の実績

最大200名受け入れ可能

- ・ 1棟貸切による安全な環境提供
- ・ 生徒の見守りが行き届く環境

受入れ実績

- ・ 神戸学院附属高等学校
- ・ 県内私立中学校
- ・ その他多数の教育機関

クラス単位の活動に対応可能な
多用途小宴会場を用意



全体集合や学習活動に

最適な大型会場を3箇所完備

A detailed black and white illustration of a river scene. In the foreground, a boat with several figures is on the water. In the background, there are mountains and a large building on a hill. The style is reminiscent of a woodblock print or a detailed drawing.

01 はじめに

02 オリジナル探究型教育旅行

03 たけたん事業概要

04 たけたんにできる3つのこと

05 学習コンテンツ事例

山陰海岸ジオパークの地質を学ぶ

山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク

山陰海岸ジオパークは、京都府（京丹後市）、兵庫県（豊岡市・香美町・新温泉町）、鳥取県（岩美町・鳥取市）にまたがる広大なエリアを有しており、山陰海岸国立公園を中心に、京丹後市の東端から鳥取市の西端まで、東西約120km、面積は2458.44km²で、東京都よりひとまわり大きい広さになります。

日本海形成から現在に至る様々な地質が存在し、それらを背景とした生き物や人々の暮らし、文化・歴史に触れることができる地域です。

山陰海岸ジオパークの最大の特徴は、日本列島が大陸の一部だった時代から日本海形成に関わる火成岩類や地層、海水準や地殻の変動によって形成されたりアス海岸や砂丘をはじめとする多彩な海岸地形など、貴重な地形・地質遺産を数多く観察できることです。

山陰海岸ジオパークの地質を学ぶ



山陰海岸ジオパークの特異な地形や地質を学びます。柱状節理や、かつて大陸とつながっていたことを証明するゾウの足跡やポッドホール、柱状節理などの地層や地質を学びます。山陰海岸ジオパークでは、さまざまな岩石や地層、多彩な海岸地形、滝や溪谷など、貴重で美しい地形・地質を観察することができます。

地形・地質学的特徴

- (1) 日本海形成に関わる様々な岩石や地層
- (2) 日本海沿岸の変化に富んだ海岸地形
- (3) 日本海形成後も引き続いた火山活動
- (4) 第四紀における地磁気逆転期の発見サイト（玄武洞玄武岩）
- (5) 豊富な温泉資源
- (6) 第四紀地殻変動を示す活断層・海岸段丘

町をフィールドとした探究学習！地元ガイドの方から地域を学ぶ



当ホテルでは、竹野町の町全体をフィールドとして、地域に住まれる方々をガイドに竹野町での探究学習フィールドテーマパークを目指しています。

地域の方々がガイドを務めることで、地域資源を活用した観光を持続的に発展させることができます。また、地元の高齢者や中年層が若い世代と接する機会が増え、世代を超えた相互理解が進むことで、現地ならではの知識提供：地元住民は教科書では学べない現地ならではの知識や体験を提供できます。こうしたプログラムを通じて、地元住民の役割は単なるガイドに留まらず、地域活性化や持続可能な社会を作り上げる重要な一歩になるでしょう。地域探究というと「地域課題の解決」がテーマとして浮かびやすいですが、地域の多様な人々との対話を通して生徒の価値観を広げることも地域探究の一つだと考えています。

プログラムスケジュール例

10:00～
山陰海岸ジオパークについて

10:30～
実地見学

11:30～
振り返り
(グループディスカッション)

12:00
終了

実施場所

奥城崎シーサイドホテル

実施時間

10:00～12:00/ 14:00～16:00

所要時間

約3時間

実施可能人員

20名

実施費用

3,000円／人

人口減に伴う農業のあり方

集落営農

集落営農とは、集落の農家が共同で農業生産に取り組む組織です。

農業従事者の高齢化や兼業化による担い手の不足、遊休農地の増加などの課題を解決するために、集落全体で話し合い、協力して地域農業を維持・発展させることを目的としています。

集落営農には、次のようなメリットがあります。

- ①労働時間の短縮や生産コストの低減が期待できる
- ②農地を共同管理することで農地の荒廃を防ぐことができる
- ③農産物加工など新たなチャレンジが可能となる
- ④集落の活性化につながる

集落営農の組織は、機械の利用方法や運営方法、生産調整などを含む農地の利用調整、経理の仕方、法人化の有無などで様々なパターンがみられます。

集落営農を通した地域の一次産業の課題を学ぶ



過疎化により農業の担い手が不足している課題から、集落営農を通して地域の取り組みを学びます。集落など、まとまりのある一定の地域内の農家が、農業生産について共同で取り組む組織のことを集落営農組織と言います。機械の所有形態や組織の運営方法、生産調整などを含む農地の利用調整、経理の仕方 や法人化の有無などで様々なパターンがみられます。耕作放棄地の増加や担い手不足などを背景に、地域の農地を集落単位で管理する「集落営農」の組織化や法人化の取り組みは全国各地で進められてきました。そうした動きが活発化してから約10年。集落営農組織は、担い手の高齢化などの課題に直面し、再び岐路に立っているといっても過言ではありません。地域の農業をどう守っていくか。皆さんと是非考えたいと思います。

町をフィールドとした探究学習！地元ガイドの方から地域を学ぶ



当ホテルでは、竹野町の町全体をフィールドとして、地域に住まれる方々をガイドに竹野町での探究学習フィールドテーマパークを目指しています。

地域方々がガイドを務めることで、地域資源を活用した観光を持続的に発展させることができます。また、地元の高齢者や中年層が若い世代と接する機会が増え、世代を超えた相互理解が進むことで、現地ならではの知識提供: 地元住民は教科書では学べない現地ならではの知識や体験を提供できます。こうしたプログラムを通じて、地元住民の役割は単なるガイドに留まらず、地域活性化や持続可能な社会を作り上げる重要な一歩になるでしょう。地域探究というと「地域課題の解決」がテーマとして浮かびやすいですが、地域の多様な人々との対話を通して生徒の価値観を広げることも地域探究の一つだと考えています。

プログラムスケジュール例

10:00～
集落営農について

10:30～
実地見学

11:30～
振り返り
(グループディスカッション)

12:00
終了

実施場所

奥城崎シーサイドホテル

実施時間

10:00～12:00/ 14:00～16:00

所要時間

約3時間

実施可能人員

20名

実施費用

3,000円／人

地域の課題を解決に向けて！！～高校生と行政がパートナーとして協働することで生まれた～

高校生のアイデアから生まれた「自然内図書館」

「自然内図書館」は、高校生のアイデアから生まれました。地域の課題解決に向けて市民や学生がオープンデータ等を用いたアイデアで取り組む、東京大学公共政策大学院等が共同で主催するアイデアコンテスト「チャレンジ!!オープンガバナンス2022」（以下「COG」）において、豊岡市の課題に対して応募されたものです。

COGにおいて、豊岡市では豊岡のコミュニティの活性化等に資する図書館を目指す「豊岡市図書館未来プラン」実現のためのアイデアを募集した。それに対し、市内の高等学校の生徒たちから「自然豊かな豊岡市で自然の音をBGMにした非日常の読書空間の提供」の提案を受けました。なお、このアイデアは2023年3月に東京大学にて開催されたCOG最終公開審査において、全国36自治体、60チームの中からオープンガバナンス総合賞に次ぐアイデア賞を受賞しました。

豊岡の地域課題に対して、実際に高校生たちの考えた提案から学ぶ



地域課題である人口減少に伴う過疎化。過疎化により町や集落のコミュニティとしての機能が失われていく現状の課題があります。その課題の中で、新たにコミュニティをどう機能させて、活性化させていくか？今の取り組みから学びます。

豊岡での地域課題の一つに、図書館の利用者の激減が挙げられます。この地域課題に対して、豊岡の高校生が実際に提言した提案が、2022年にCOGアイデア賞を受賞しました。この取り組みを学び、自身に置き換えた時にどのようなことが考え、また行動に移すことができるのか。このプログラムでは、それらを考えるきっかけを提供します。

町をフィールドとした探究学習！地元ガイドの方から地域を学ぶ



当ホテルでは、竹野町の町全体をフィールドとして、地域に住まれる方々をガイドに竹野町での探究学習フィールドテーマパークを目指しています。

地域の方々がガイドを務めることで、地域資源を活用した観光を持続的に発展させることができます。また、地元の高齢者や中年層が若い世代と接する機会が増え、世代を超えた相互理解が進むことで、現地ならではの知識提供：地元住民は教科書では学べない現地ならではの知識や体験を提供できます。こうしたプログラムを通じて、地元住民の役割は単なるガイドに留まらず、地域活性化や持続可能な社会を作り上げる重要な一歩になるでしょう。地域探究というと「地域課題の解決」がテーマとして浮かびやすいですが、地域の多様な人々との対話を通して生徒の価値観を広げることも地域探究の一つだと考えています。

プログラムスケジュール例

10:00～

竹野町まち歩き

※御用地館への移動

10:30～

豊岡の課題や
地元の高校生の提案
についてのセミナー

11:30～

グループディスカッション

12:00

終了

実施場所

奥城崎シーサイドホテル

実施時間

10:00～12:00/ 14:00～16:00

所要時間

約3時間

実施可能人員

20名

実施費用

3,000円／人